



常盤シブヤ科だより

令和4年7月25日
渋谷区立常盤松小学校
No.2
担当 木村沙樹

★5年生「食品ロスを減らそう」特集★

5年生のシブヤ科の学習「食品ロスを減らそう」の学習が始まりました。7月20日（水）に大学院で食品ロスについて研究されている方を講師にお招きし、食品ロスの現状についてお話ししていただきました。

先生が以前訪れたラオスでは、ごみの埋め立てが追い付かず、山積みになっている現状があったそうです。そこで先生は渋谷のごみについて調べると、その30%が生ごみであることが分かったそうです。

また、日本の食品ロスのうち、半分以上が家庭から出るものだそうです。それぞれの家庭に責任があること、ごみをめぐる問題は決して他人事ではないと仰っていました。



SDGsの目標⑫「つくる責任 つかう責任」に関わる現状であり、ひいては目標②「飢餓をゼロに」にも関わることだとお話されていました。

飢餓や貧困の現状から「フードバンク」の活用についても紹介がありました。

「そのフードバンクは本当に貧困層にまんべんなく届いているの？」という疑問も出ました。自分から進んで教わったことをメモする子もあり、意欲的な姿が見られました。



2021年の1年間で、捨てられた食品ランキングも紹介していただきました。クイズ形式で考えましたが、先生の出すヒントを基に、子供たちは予想を立て、よく考察していました。「なぜこの食品がたくさん捨てられているのだろう？」という問いも子供たちの中から出ました。最後に、直近の1週間で廃棄してしまった食べ物とその理由について考え、自分達の生活を振り返りました。

お話を聞いて終わりではなく、今後もこの学習は続きます。現状について知り、考えるきっかけをいただいたので、それをどう改善していくかは子供たち次第です。御家庭でも、授業を通してお子さんが考えたことを話題にし、お話ししてみてください。

